

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公表番号】特表 2018-515567 (P2018-515567A)

【公表日】平成 30 年 6 月 14 日 (2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2018-022

【出願番号】特願 2017-560686 (P2017-560686)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/365 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 K 31/4045 (2006.01)

A 6 1 K 38/15 (2006.01)

A 6 1 K 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 47/69 (2017.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/68 (2017.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/365

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/4045

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 38/15

A 6 1 K 31/20

A 6 1 K 47/69

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 47/68

A 6 1 K 47/60

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 47/24

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 22 日 (2019.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潜伏性ウイルス疾患を処置するための、ヒストンデアセチラーゼ (H D A C) 阻害剤お

よびプリオイドを含有する薬剤。

【請求項 2】

前記プリオイドが、プリオスタチン 1 から 20 および他の公知のプリオスタチンまたは同定されたプリオスタチンから成るプリオスタチンの群より選択される、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 3】

前記 HDAC 阻害剤が、バルプロ酸、ポリノスタット、ロミデプシンおよびパノビノスタットから成る群より選択される、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 4】

前記プリオイドが、被験体の体重 K g 当たり 10 から 100 μ g の有効用量範囲で投与される、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 5】

前記 HDAC 阻害剤が、被験体の体重 K g 当たり 10 から 100 mg の有効用量範囲で投与される、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 6】

前記 HDAC 阻害剤およびプリオイドが、1 つ以上の粒子によって担持される、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 7】

前記 1 つ以上の粒子が外表面を有し、前記潜伏性ウイルス疾患に関連する前記ウイルスが 1 つ以上のウイルス成分を有し、前記 1 つ以上の粒子が前記ウイルス成分に特異的な 1 つ以上のリガンドを含み、前記 1 つ以上のリガンドが前記 1 つ以上の粒子の外表面と会合している、請求項 6 に記載の薬剤。

【請求項 8】

前記 1 つ以上の粒子が、CD - 4 細胞を上方調節する 1 つ以上の上方調節リガンドを含み、前記 1 つ以上の上方調節リガンドが外表面と会合している、請求項 6 に記載の薬剤。

【請求項 9】

前記 1 つ以上の粒子が、コア、少なくとも 1 つの周囲を取り囲む物質および前記外表面を有し、前記コアが親水性物質と前記 HDAC 阻害剤の混合物を有し、前記周囲を取り囲む物質が疎水性物質と前記プリオイドの混合物を有し、前記周囲を取り囲む物質が前記コアを包み込み、前記外表面が前記周囲を取り囲む物質を取り囲み、前記 1 つ以上の粒子が潜伏性ウイルス疾患を処置するためのものである、請求項 6 に記載の薬剤。

【請求項 10】

前記潜伏性ウイルス疾患に関連する前記ウイルスが 1 つ以上のウイルス成分を有し、前記 1 つ以上の粒子が前記ウイルス成分に特異的な 1 つ以上のリガンドを含み、前記 1 つ以上のリガンドが前記 1 つ以上の粒子の外表面と会合している、請求項 9 に記載の薬剤。

【請求項 11】

有効量のヒストンデアセチラーゼ (HDAC) 阻害剤および有効量のプリオイドを投与する段階を含む、潜伏性ウイルス疾患を処置する方法。

【請求項 12】

前記プリオイドが、プリオスタチン 1 から 20 および他の公知のプリオスタチンまたは同定されたプリオスタチンから成るプリオスタチンの群より選択される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記 HDAC 阻害剤が、バルプロ酸、ポリノスタット、ロミデプシンおよびパノビノスタットから成る群より選択される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記プリオイドが、被験体の体重 K g 当たり 10 から 100 μ g の有効用量範囲で投与される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 15】

前記 HDAC 阻害剤が、被験体の体重 K g 当たり 10 から 100 mg の有効用量範囲で

投与される、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記 H D A C 阻害剤およびプリオイドが、1 つ以上の粒子によって担持される、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記 1 つ以上の粒子が外表面を有し、前記潜伏性ウイルス疾患に関連する前記ウイルスが 1 つ以上のウイルス成分を有し、前記 1 つ以上の粒子が前記ウイルス成分に特異的な 1 つ以上のリガンドを含み、前記 1 つ以上のリガンドが前記 1 つ以上の粒子の外表面と会合している、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記 1 つ以上の粒子が、C D - 4 細胞を上方調節する 1 つ以上の上方調節リガンドを含み、前記 1 つ以上の上方調節リガンドが外表面と会合している、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記 1 つ以上の粒子が、コア、少なくとも 1 つの周囲を取り囲む物質および前記外表面を有し、前記コアが親水性物質と前記 H D A C 阻害剤の混合物を有し、前記周囲を取り囲む物質が疎水性物質と前記プリオイドの混合物を有し、前記周囲を取り囲む物質が前記コアを包み込み、前記外表面が前記周囲を取り囲む物質を取り囲み、前記 1 つ以上の粒子が潜伏性ウイルス疾患を処置するためのものである、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記潜伏性ウイルス疾患に関連する前記ウイルスが 1 つ以上のウイルス成分を有し、前記粒子が前記ウイルス成分に特異的な 1 つ以上のリガンドを含み、前記 1 つ以上のリガンドが前記 1 つ以上の粒子の外表面と会合している、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 1】

製品としての、コア、少なくとも 1 つの周囲を取り囲む物質および外表面を有する粒子であって、前記コアが親水性物質とヒストンデアセチラーゼ (H D A C) 阻害剤の混合物を有し、前記周囲を取り囲む物質が疎水性物質とプリオイドの混合物を有し、前記周囲を取り囲む物質が前記コアを包み込み、前記外表面が前記周囲を取り囲む物質を取り囲む、潜伏性ウイルス疾患を処置するためのものである粒子。

【請求項 2 2】

前記潜伏性ウイルス疾患に関連する前記ウイルスが 1 つ以上のウイルス成分を有し、前記粒子が前記ウイルス成分に特異的な 1 つ以上のリガンドを含み、前記 1 つ以上のリガンドが前記粒子の外表面と会合している、請求項 2 1 に記載の粒子。

【請求項 2 3】

C D - 4 細胞を上方調節する 1 つ以上の上方調節リガンドをさらに含み、前記 1 つ以上の上方調節リガンドが外表面と会合している、請求項 2 1 に記載の粒子。

【請求項 2 4】

前記プリオイドが、プリオスタチン 1 から 2 0 および他の公知のプリオスタチンまたは同定されたプリオスタチンから成るプリオスタチンの群より選択される、請求項 2 1 に記載の粒子。

【請求項 2 5】

前記 H D A C 阻害剤が、バルプロ酸、ポリノスタット、ロミデプシンおよびパノビノスタットから成る群より選択される、請求項 2 1 に記載の粒子。